

令和5年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年3月5日(火)

校長 高橋 励



～保護者の皆様へ～

令和5年度の振り返り

2つの調査の結果分析のフィードバック

3月に入り、赤羽根中学校も来年度に向けた年度末の振り返りの時期を迎えました。昨年11月にご協力をお願いした「学校評価アンケート」と4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の2つの調査について、学校としての分析をお知らせいたします。

「学校評価アンケート」の概要については裏面見開きで自己評価としての分析と集計結果の経年変化の一覧を掲載しています。また、質問項目ごとの詳細を学校ホームページにお示ししますので併せてご覧ください。

「全国学力・学習状況調査」については、赤羽根中学校3年生の平均正答率は、茅ヶ崎市全体の傾向と概ね同様で、全国・神奈川県との平均値と比較しても大きな差は見られませんでした。

※【参考】全国の平均正答率(公立)の±10%の範囲内であれば、全国との大きな差は見られなかったと考える。(令和5年度全国学力・学習状況調査 報告書(文部科学省 国立教育政策研究所)より)

ただし、無回答(誤答ではなく答えが書かれていない)率が10%を超える設問が国語で3/15問、数学で8/15問、英語で5/17問見られました。

また、「生徒質問紙調査」の茅ヶ崎市13校の傾向と重ねることから見える本校の状況を4ページに掲載しましたのでご覧ください。

本校が取り組んでいる「授業づくり」の研究に助言をいただいている東京大学の藤村宣之教授からも、粘り強く工夫や調整しながら学習に向き合い、自ら答えを導き出すという意欲を育むことが大切であるとして示唆

いただいています。あきらめずに考え挑戦する意欲を育めるよう、来年度に向けて準備を進めてまいります。

Dera Student (*_**)

3年生は、今…

3月1日(金)に卒業間近の3年生の特別活動として、Artist MEGUMI MATSUKAWA



「花」をイメージして一人ひとりが自分の描きたいものをキャンバス

スに描くことを通して、それぞれの想いや発想を



表現する活動でした。3年生の学年代表をはじめとする保護者の方々が茅ヶ崎市役所地域福祉課の方にも運営への協力とご参観をいただきました。2月28日の公立高等学校の結果発表を経た3年生は、少し肩の力を抜いた穏やかな時間を過ごせていたようでした。12日の巣立ちの日までのおよ1週間の時間を大切に過ごしてほしいと願っています。

んによる“ART制作”体験ワークショップが開かれました。



令和5年度 学校評価アンケート 集計結果とまとめ(自己評価)

実施期間:令和5年11月10日~24日まで。Google Workspace の Google フォームにより回答。回答数は、生徒340件(対象生徒数373名・回答率91.1%)、保護者319件(在籍生徒数>家庭数)。令和5年度調査では、生徒17人、保護者16名がおおよそ1%に当たる。

この調査は、学校運営の改善を目的として、本校在籍の生徒及びその保護者の協力により実施しています。

右ページ「学校評価アンケート集計結果一覧」をご参照のうえお読みください。また、個々項目の集計結果については、本校学校 HP に掲載しております。そちらをご参照ください。

調査結果の分析概要は次の通りです。

《調査結果に基づく学校としての現状の分析》

令和5年度、赤羽根中学校は「主体的に取り組む姿から学びが広がる学校を目指して」を重点目標として《信頼される学校》《安心して生活できる学校》《学びやすい学校》になることを目指して教育活動に取り組んできました。

その取り組みへの評価として、令和5年度は肯定的な回答の減少が全体としての傾向として見られます。特に生徒の回答においては昨年度に比べ、13項目で減少が見られます。

肯定的な回答が増加した項目としては、生徒では「地域との交流」・「校則」・「キャリア教育」・「学級活動への取り組み」が、保護者では「入学してよかった」・「家庭との連携」・「教師の協力」・「いじめ・暴力への取り組み」・「危機管理」・「生徒の自主性を伸ばす」・「部活動」が挙げられます。

肯定的な回答が80%を超える項目として、生徒では「授業の学ぶ雰囲気」・「分かりやすい授業」・「多面的な評価」・「生徒の自主性を伸ばす」・「部活動」が、保護者では「入学してよかった」・「家庭との連携」・「生徒の自主性を伸ばす」が挙げられます。

各ご家庭の目から見て、重点目標にかかわる「生徒の自主性を伸ばす」が概ね肯定的な回答であったことは「入学してよかった」の回答につながるものととらえています。また、「家庭との連携」の評価の高さは、本校教員の日頃のかかわりの表れであると受け止めています。

生徒の目から見て「授業の学ぶ雰囲気」、「分かりやすい授業」、「多面的な評価」、「生徒の自主性を伸ばす」の各項目の肯定的な回答が8割を超えていることも、校内研究をはじめとした授業づくりと適正な学習評価におけた工夫と研さんの結果として受け止めていますが、減少傾向にあることについては、その課題の解消について検討の必要性を感じています。

また、保護者回答では微増しているものの生徒回答で減少がみられる「いじめ・暴力への取り組み」・「相談できる先生」・「美化活動」・「危機管理」の各項目については、《安心して生活できる学校》に向けた検討の必要性を感じています。

なお、自由記述についての概要は次のとおりです。

生徒記述:116(うち25は絵文字等)

記述内容:規則・服装等(21)、学習(10)、部活動(10)、学年・学級指導(4)、相談・支援(8)、その他感想など

保護者記述:37

記述内容:学習評価・支援・進路指導等(11)、学校運営・規則等(7)、情報発信(4)、その他感想など

お寄せいただいた課題としては、生徒の個性に配慮した学習・生活面でのケアの在り方や相談体制の改善 / COCOO 等情報発信ツールの効果的な活用 / 日常の服装 / 学校教育としての継続性と教員の情報共有 / 学校施設や学校図書など教育環境の整備等がありました。

今回の調査結果と分析は全教職員で共有し、来年度に向けた改善に活かしてまいります。調査へのご協力ありがとうございました。

令和元年度～5年度 学校評価アンケート集計結果 一覧

※肯定的評価の回答の割合とその経年変化

	質問項目	生徒調査							保護者調査						
		R1	R2	R3	R4	*2	R5	*1	R1	R2	R3	R4	*2	R5	*1
1	入学して良かった	84	74	86	79	↓	74	○	91	86	88	86		87	◎
2	教育目標達成への努力	57	46	66	62		61		89	70	77	73		72	○
3	地域との交流	76	53	63	58		62		90	79	75	76		73	○
4	家庭との連携	82	79	85	76	↓	71	○	92	85	88	90		91	◎
5	授業の学ぶ雰囲気	82	85	89	85		82	◎	80	65	70	70		68	
6	分かりやすい授業	78	82	92	85		83	◎	73	57	64	68		65	
7	教師の協力	81	74	81	75		74	○	82	58	63	58		61	
8	多面的な評価	83	86	88	85		82	◎	81	73	79	76		76	○
9	いじめ・暴力への取り組み	66	69	71	69	↓	62		82	67	66	58		60	
10	校則	65	58	67	53		54		88	78	77	80	↓	72	○
11	相談できる先生	59	66	69	64		62		64	66	62	63	↑	69	
12	キャリア教育	76	71	77	70		72	○	69	54	50	53	↑	58	
13	美化活動	74	73	82	76	↓	71	○	96	87	79	79		78	○
14	危機管理	85	83	83	82	↓	76	○	93	70	63	65		68	
15	学校行事の充実	75							83						
16	生徒の自主性を伸ばす	83	79	88	84		82	◎	95	90	89	86		90	◎
17	学級活動への取り組み	70	77	85	78		79	○	83	73	73	79		78	○
18	部活動	67	77	83	80		76	◎	66	64	64	71		73	○
18項目の平均		75	72	80	74		72		83	72	72	72		73	

*1 設問に対する本年度の肯定的評価

80%以上：◎ 70%以上：○ 50%以下：▲で表示

*2 肯定的評価の前年度と比べての増減

5%以上増加：「↑」 5%以上減少：「↓」で表示

全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙調査」結果からみえる本校の状況

◆は「令和5年度全国学力・学習状況調査結果及び分析*1」（茅ヶ崎市教育委員会）で「肯定的に回答した生徒の方が、各教科の平均正答率が高い傾向が見られる」と分析された項目の本校の回答状況。

（参考）上記資料*1は茅ヶ崎市ホームページからダウンロードできます。

※は全国、県、市との比較のため割合を記載。

□ 基本的な生活習慣に関する状況

(1) 「朝食を毎日食べていますか」

◆9割が肯定的な回答

□ 自己肯定感に関する状況

(4) 「自分には良いところがあると思いますか」

◆8割強が肯定的な回答

(5) 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」◆8割強が肯定的な回答

□ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(36) 「1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」

◆8割強が肯定的な回答

(33) 「1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」◆「ほぼ毎日」が9割以上。

□ 規範意識に関する状況

(8) 「人が困っているときは、進んで助けていますか」※9割が肯定的な回答《全国(88.7%)、県(87.7%)、市(88.6%)と比べ概ね同じ割合》

(9) 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」※9割強が肯定的な回答《全国(95.5%)、県(94.9%)、市(94.3%)と比べ概ね同じ割合》

□ 学習習慣等に関する状況

(16) 「家で自分で計画を立てて勉強していますか。(学校の授業の予習や復習を含む)」◆「全くしていない」「あまりしていない」を合わせると

4割弱。※《全国(44.8%)、県(44.7%)、市(46.4%)と比べ若干少ない割合。》

(17) 「学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)◆「全くしない」が1割弱。「1時間より少ない」までおよそ2割強※《「1時間より少ない」全国(33.9%)、県(27.4%)、市(26.2%)と県・市とほぼ同様。》

(31) 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか」◆肯定的な回答がおおよそ7割※《「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」全国(66.8%)、県(69.1%)、市(72.3%)》

□ 教育相談・支援の観点から

(10) 「困りごとや不安がある時に、先生や学校の大人にいつでも相談できますか」※否定的な回答が4割弱。《全国(32.8%)、県(34.1%)とほぼ同様だが、割合としては若干高い》

茅ヶ崎市の分析のことはを借りれば「概ね満足な状況」だと捉えられますが、生活習慣や環境を整えることが学習状況の改善につながるのであれば、学校・地域・家庭ともにその点を意識することは大切なことだと受け止めています。授業改善も含め、上記項目の否定的な回答の割合が少しでも減少するような学校教育のあり方を探究していきたいと考えていますので、今後とも、ご支援とご協力をお願いいたします。